

夏休みにチャレンジ!

将棋にふれよう

関文化スポーツ課 ☎(235)4797 関(233)9118

年齢を問わず誰でも楽しめるのが将棋の魅力です。私は小学校1年生から将棋を始めました。将棋クラブの担当だった担任の先生に、放課後対局をしてもらっていたのが思い出です。将棋でお子さんやお孫さんとコミュニケーションを図りませんか。初めての方にも丁寧に解説します。



簡易将棋盤・駒セットを進呈



8/24(土)

午前

親子ふれあい将棋教室

「初めてコース」と「勉強コース」の2コース。海老名市出身の棋士、北浜健介八段がルールや戦法を解説します。親子同士での対局も。時9時30分～11時30分 対局市役所401会議室ほか 対市内在住の小学生と保護者2人1組 定各コース40組 費1組800円(参加費) 他参加賞あり



講師 北浜健介八段 (日本将棋連盟)



午後

えびなっ子将棋名人戦



①小学生低学年 ②小学生高学年 ③中学生の3部門で対局します。時13時～17時 対局市役所401会議室ほか 対市内在住の小・中学生 定①②合計80人 ③20人 費500円(参加費) 他参加賞あり。各部門3位まで表彰



共通事項
申7月8日(月)から、イベント名・住所・氏名・電話番号・学校名・学年、将棋教室参加の場合は保護者の氏名・希望コースを、直接または電話・ファクス・はがきで文化スポーツ課へ。市ホームページからも可。26日(金)必着。応募多数の場合は抽選



将棋イベント申し込み

夏休みにチャレンジ!

歴史にふれよう

関教育総務課 ☎(235)4925

夏休み期間に行う、お子さん向けの各種講座やイベントを紹介します。

7/26(金)

えびな歴史絵手紙講座

時①10時～11時30分 ②13時30分～15時 場海老名市温故館 対市内在住の小学生3～6年生 定各回先着15人 費200円 (材料費) 申7月1日(月)から、直接または電話で教育総務課へ



土器や石器の実物をお手本に



講師 柚木瑛湖氏 (日本絵手紙協会公認講師)

筆の天辺を持ち、大きくゆっくり描きます。下描きはしません。下手でいい。下手がいい。一生懸命描いたものは人の心を動かす力があります。ぜひご参加を。



「えびな歴史絵手紙」作品募集
【規格】はがきサイズ
市内在住の小学校3～6年生、市内立小学生は、夏休みの課題提出日に学校へ提出。その他の方は、直接または郵送で〒243-0422 中新田377 教育総務課へ。9月5日(木)締め切り (必着) 他応募は1人1点。表彰、展示あり

7/31(水)・8/1(木)

いにしえびとの道具箱 まが玉・矢じりを作ろう

時①9時30分～12時 ②13時30分～16時 対市内在住の小学校1年生以上(3年生までは保護者同伴) 定各回25人



講師 はまだ 濱田伸子氏 (温故館職員)



まが玉のルーツは縄文時代の装身具です。市内の古墳などからもさまざまなまが玉が出土しています。歴史に思いをはせながら、自分だけのまが玉を作りましょう。

柔らかい石「滑石」を紙やすりなどで丸く削っていく



7/30(水)

矢じり

時14時～16時 対市内在住の小学校5年生以上 定15人



縄文時代の石器「矢じり」を当時と同じ方法で作ります。石器作りを通じて遠い歴史や先人たちの文化への関心を深めましょう。完成品は矢の先端に付けて試射体験します。



講師 みどうしま 御堂島 正氏 (大正大学文学部教授)

「黒曜石」を鹿の角で小さく割りながら作る

共通事項
場えびな市民活動センタービナレッジ 費200円(材料費) 申原則、市ホームページから。ホームページでの申し込みができない方は、はがきに住所・氏名・電話番号・学年または年齢・講座名・日時を記入し教育総務課へ。まが玉作りは第2希望日の記入可。7月16日(火)締め切り(必着)。応募多数の場合は抽選 他結果は郵送でお知らせします



まが玉申し込み



矢じり申し込み